







＃岐阜県　＃恵那市 ＃地域おこし協力隊募集！

飯地キャンパス1,000人描くプロジェクト

人・文化・産業を結び、町のファンを一緒に増やしてくれる移住者求む










恵那市では現在、令和８年～９年度にかけて活動可能なフリーランス型の地域おこし協力隊を募集しています。カジュアル面談やおためしプログラム、インターンを通して、確認し合いながら、本エントリーへ応募いただける方を関係者一同お待ちしております。

はじめまして　岐阜県　恵那市　飯地町

日本の真ん中に位置する岐阜県は、「木の国、山の国」と言われるように、面積のおよそ8割を森林が占める、緑豊かなところです。そんな岐阜県の南東に位置する恵那市は、人口約5万人。映画館こそありませんが、市街地には必要な商業施設が一通りそろっています。

今回募集の活動地域「飯地町」は標高600メートルの高原の町で、人口は約500人。コンビニも、信号すらもない、恵那市の中で一番小さな町です。

不安になるほどくねくねと曲がりくねった山道を登ると、その先に、突然ぽっかりと開けた集落が現れます。透明な空気と、青い空。春には山桜や野の花。初夏にはきらきら光る新緑。秋には木々が色づき、冬には集落にうっすら雪化粧が施されます。時々ウリボウを連れたイノシシの親子が道を横切り、カモシカがのんびりこちらを覗く姿を見かけます。素朴な里山の風景を目にすると、どこか懐かしい、ほっこりした気持ちになります。

ここに暮らす人々は、ほとんどが顔見知り。町の行事やお手入れなどもみんなで協力し合っています。子どもたちは小さい子から大きい子までみんな仲良し。お兄ちゃん、お姉ちゃんが小さい子と遊んでくれます。お米を作ったり、山仕事をしたり、狩猟をしたり。かっこいい里山「おっとう」がたくさんいます。愛情の込もった里山ごはんを作ったり、丁寧に保存食を作ったり。温か「おっかあ」もたくさんいます。ほんのちょっとせんしょ（お世話やき）で、気持ちの優しい人たちが、昔からの暮らしの知恵や人とのつながりを大切にしながら暮らしています。

曲がりくねった山道の先にある、フルサト。

特別なものは何にもないけど、この町には、「地域で大切にしてきたもの」「もったいないもの」「掘り出し物」「のびしろ」がたくさんあります。

町の概要につきましては、こちらを参照ください
https://iiji-ena.com

Strengths

恵那市の制度運用
今回の募集企画の
魅力！

①　恵那市は13の地域自治区があり、地域おこし協力隊員を希望する地域ごとに、地域課題や推していきたい事業、地域力アップに活用できる資源を洗い出し、地域協議において地域おこし協力隊と一緒に取り組みたいテーマとミッションを抽出しています。

②　地域おこし協力隊の身分と待遇は、会計年度任用職員ではなく、市と雇用関係のない委嘱された隊員個人と契約を結ぶ「フリーランス型」です。自由度が高い分、自己責任部分も多いです。地域ごとに設けられているミッションに取り組む履行型の委任契約を行い、稼ぐ地域と隊員自身の生業づくり、定住定着に向けた基盤づくりに必要な協働、支援に力を入れています。

③恵那市では令和５年度から協力隊運用の再構築を岐阜県地域おこし協力隊ネットワーク（県内の協力隊OBOG組織）と協働して行っていることで、行政・地域・隊員・第三者の多様で幅広い視野を盛り込むことが可能な協働体制をつくっています。

④県内でも実施している市町村が少ない、おためし協力隊やインターン制度を実施し、現地での募集ミッションの説明・業務体験並びに地域関係者や協力隊OBOGとの意見交換を通し、暮らしと仕事のイメージをしっかりともち、良いスタートが切れるように、確認し合える機会を多く設けています。

詳　細

今回の募集テーマ・ミッションについて

今回は、募集の目標を「人口500人の町で1,000人のファンづくり」と名付けました。ここで言う町のファンは「町内外から飯地を好きになって積極的に関わり合いを持ってくれる人」のことを指します。

町にある様々な体験交流事業や活用しきれていない施設を拠点にして、町内外に点在するヒト・モノ・コトと連携しながら、新しい関係性を見出し、飯地町ならではの交流・関係・観光・定住人口の創出と収益化、その仕組みまでを町民と一緒になって育て上げてくれる「つなぎ役」を募集したいというものです。というのも、飯地町に点在するヒトもモノもコトも、その一人ひとりや一つひとつをよく見ると、洗練されていないながらも、魅力的なものがたくさんあります。けれども単体ではちょっと訴求力が弱かったり、自分たちの魅力を形にして伝える力が弱かったりするのです。それらをまずは協力隊として、住民として体感、把握しながら魅力をブラッシュアップしてほしいのです。

飯地町では、そのための「飯地町まちづくり計画」検討委員会も発足させ、まだ見ぬ協力隊員さんとの協働や連携ポイント、受け入れ体制について協議を重ねています。

このような経緯と状態を知っていただいた中で、あなたの思いやスキル、経験を存分に発揮できる領域と環境をお聞きしながら、すり合わせ、掛け合わせながら一緒に活動を進めていきたいのです。

3年目の活動が終わる頃には、あなたもコアなファンの１人となり、町内の魅力と資源を活用した「ナリワイ」や「カカワリアイ」を生み、かけがえのない町民の１人として私たちと共に飯地町を盛り上げていく存在になってくれることを願っています。

活動テーマ

町民は安心して住み続けられ、町外の人は何度でも訪れたくなるまちを目指すために
人口500人の町で1,000人のファンをつくる！

地域が求める人物

交流、体験、事業を繋いで磨き、町のファンを一緒に増やしてくれる
『地域側のつなぎ手』を地域おこし協力隊として実行できる人

一緒にやりたい活動プロセスと出したい結果、成果

①まずは、飯地町の名所や施設、関係者のもつ知恵と技に関する情報をインプット
②まちづくり計画および、それに伴う調査やヒアリングから現状を正確に把握
③変えたいものとそうでないものを踏まえた協議と提案
④関係したい人（呼び込みたい人）の設定と共有
⑤地域内外の満足度を高めるための調整や企画のブラッシュアップ
⑥取り組む優先順位を地域関係者と協議して実施するサイクルを回しながら任期後における隊員自身と関係者の望む姿へ到達

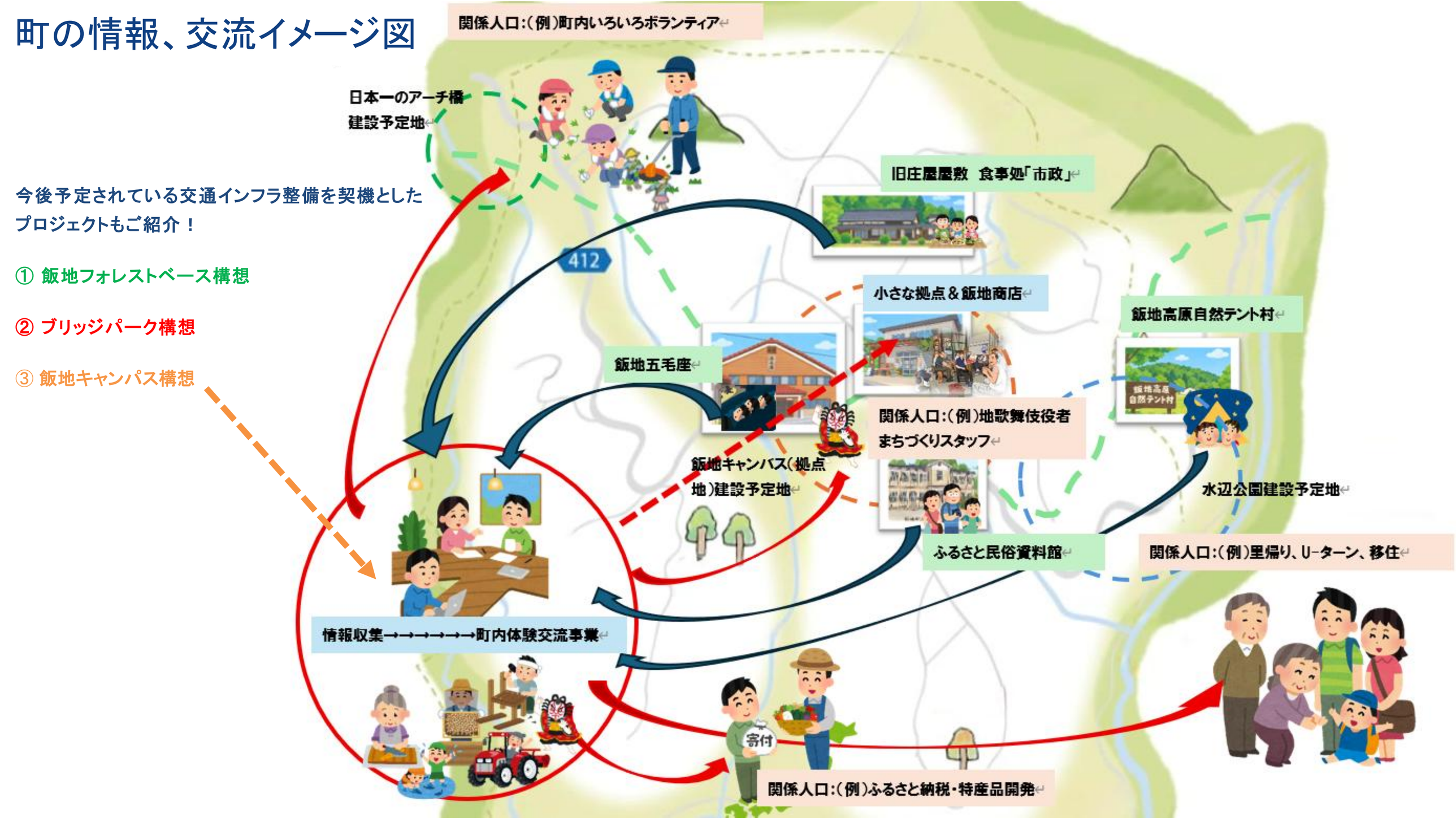
町の情報、交流イメージ図

今後予定されている交通インフラ整備を契機とした
プロジェクトもご紹介！

① 飯地フォレストベース構想

② ブリッジパーク構想

③ 飯地キャンパス構想



【パートナー団体の紹介】



メインパートナーである地域自治区協議会メンバー

【パートナー団体の紹介】

恵那市行政及び関連団体

① 地域おこし協力隊制度運用及び事業管理

② 飯地町での業務（活動）管理や関係者との調整

③協力隊経験者のいる活動拠点「飯地商店」



①恵那市地域振興課移住定住推進室



②恵那市飯地振興事務所



③飯地商店

【ファンづくりに活用したい地域内のもったいない資源の紹介】



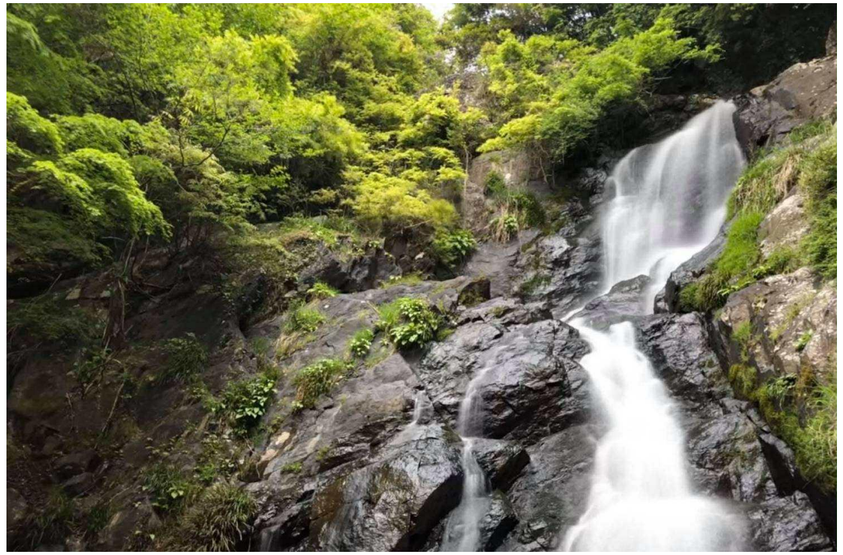
地芝居小屋「五毛座」



ふるさと民俗資料館



地芝居公演



平瀬滝



飯地町沖田地区の風景



飯地町を空から撮影

ファンづくりに欠かせない
地味だけどレアな地域グルメ（特産品）もたくさん！

・するめのこうじ漬け
・こんにゃく
・いもごね
・あげ
・朴葉寿司













【 町内に点在する「小さな魅力スポット」やおもしろ人材。移住やUターンの若者が町の至るところで活躍中！ 】



【 子育て交流サークル「おなかま」】



【 町民集合写真 】



【飯地高原自然テント村管理人加納夫妻」】



【 地芝居小屋　五毛座を元気にしたいメンバー 】



【 食事処にリノベーション中の市政（伊藤家）】



【町の大事な移動手段「いいじ里山バス」】

十要確認十

業務環境
応募条件

募集人数：1名

応募条件：この募集は「地域おこし協力隊」制度を活用するため
下記における条件および地域要件を全て満たす人が対象になります。

雇用関係：なし
恵那市長が地域おこし協力隊員として委嘱します。
恵那市地域おこし協力隊設置要綱、仕様書に基づき業務委託契約を行います。

契約期間

委嘱日から年度末まで
年度ごとの委嘱、契約更新で、最長3年まで（委嘱日はご相談に応じます）
更新の有無は市による事業評価により決定いたします。
市が協力隊としてふさわしくないと判断した場合は、任用期間中であっても
解嘱できるものとします。

業務時間

1ヶ月当たり135時間、1カ月あたり20日を目安に活動をする仕様で人件費及び活動費を積算してあります。業務内容等により活動時間の調整可

活動場所

恵那市内および飯地地域（ただし、研修等により市外へ出張する場合あり）
事務スペースやデスクは市や地域関係者が提供する場所も一定のルールに基づき使用することができます。

委託費用

人件費：月額上限　290,000円 ※消費税込
活動費：月額　125,000円　※消費税込
月ごとの履行による請求、市の確認により適切と認めたものを委託契約の範囲内で支払います。

活動報告

毎月1回活動報告書を取りまとめ、市へ進捗状況等を報告していただきます。また、地域振興事務所や活動パートナーの担当者と連携を図り、2週に1回程度、隊員の活動等に関する意見交換等を行います。

兼業　副業

地域おこし協力隊の活動＝委託業務に支障のない範囲で可能です。内容についてはあらかじめ発注者である市と協議をして確認を得てください。副業　兼業に従事する時間は、地域協力活動に従事する時間に参入することはできません。また、恵那市地域おこし協力隊としての信用を傷つけたり、市全体の不名誉とならぬよう細心注意をはらってください。

住居および活動車両

賃貸住宅等を隊員自身で契約していただきます。家賃は活動費として支出できます。
（家賃補助：5万円、車両補助：2万円が上限）
※駐車場代及び管理費　共益費等、住宅に付帯する費用も含めることができますが、敷金　礼金　光熱費等については隊員の自己負担となります。上限あり

その他の支援制度

隊員の希望、市での活動評価をもとに、条件を満たした場合は下記の支援メニューを利用できます。
①地域おこし協力隊起業支援金、任期終了後の定住するための空き家改修費用
②恵那市移住定住推進事業、商工振興補助金
③岐阜県地域おこし協力隊ネットワークによる日々のサポート、活動・起業相談

Welcome

お問い合わせ及び申し込み方法

恵那市まちづくり企画部地域振興課
移住定住推進室

〒５０９-７２９２

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1　本庁舎3階

TEL：0573-26-6811

mail：enagurashi@city.ena.lg.jp

恵那市【公式】WEBサイト

個別相談、おためし・インターンの
希望、お待ちしております！

https://kurashi.enalifebizsupport.jp/volunteer/